

## 図書館－がん相談支援センター 連携プロジェクトについて

国立がん研究センターがん対策情報センター  
八巻 知香子

がんは2人1人、  
でも、なっちはじめて・・・

- ・「頭は真っ白」になった
- ・「がん」はもう治らない？
- ・病院のペースで治療が進んでいく・・・本当にこれでいいの？
- ・これを飲めばがんが消えた！ 本当？



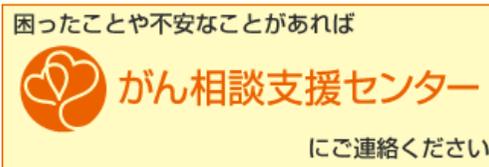
がんについて正しい情報が必要とされている

情報がまだ届いていない、困っている人がいる

## がん相談支援センターとは・・・

全国に設置された、がんの相談窓口

「がん診療連携拠点病院」、「小児がん拠点病院」  
「地域がん診療病院」に設置されている



2006年2月に誕生！

## がん診療連携拠点病院

全国どこでも質の高いがん医療が受けられるように  
厚生労働大臣が指定した施設。

## 第3期がん対策推進基本計画（平成30年3月9日閣議決定）（概要）

### 第1 全体目標

「がん患者を含めた国民が、がんを知り、がんの克服を目指す。」

- ①科学的根拠に基づくがん予防・がん検診の充実 ②患者本位のがん医療の実現 ③尊厳を持って安心して暮らせる社会の構築

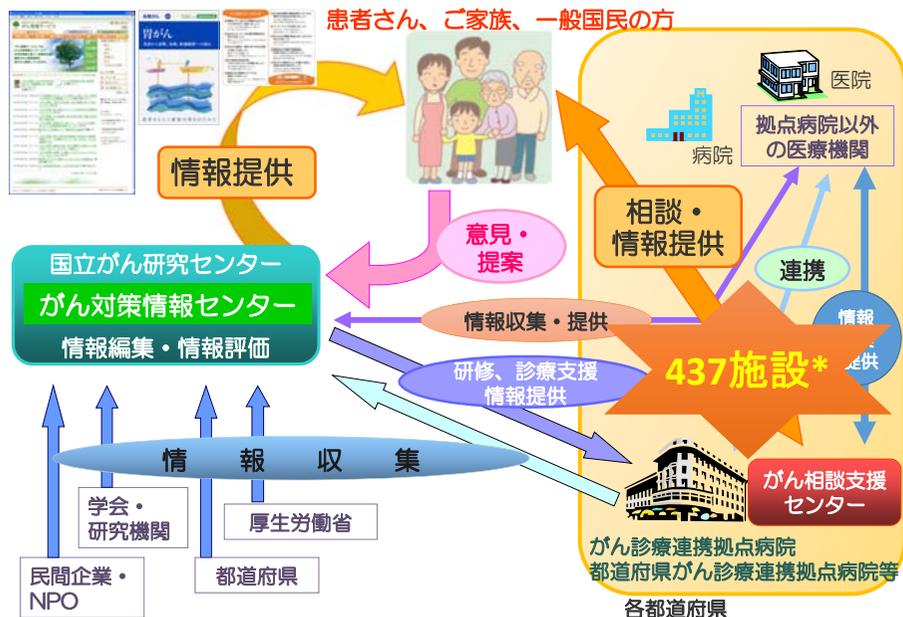
### 第2 分野別施策

1. がん予防	2. がん医療の充実	3. がんとの共生
(1)がんの1次予防 (2)がんの早期発見、がん検診 (2次予防)	(1)がんゲノム医療 (2)がんの手術療法、放射線療法、薬物療法、免疫療法 (3)チーム医療 (4)がんのリハビリテーション (5)支持療法 (6)希少がん、難治性がん (それぞれのがんの特性に応じた対策) (7)小児がん、AYA(※)世代のがん、高齢者のがん (※)Adolescent and Young Adult: 思春期と若年成人 (8)病理診断 (9)がん登録 (10)医薬品・医療機器の早期開発・承認等に向けた取組	(1)がんと診断された時からの緩和ケア (2)相談支援、情報連携 (3)社会連携に基づいたがん対策・がん患者支援 (4)がん患者等の就労を含めた社会的な問題 (5)ライフステージに応じたがん対策
4. これらを支える基盤の整備		
(1)がん研究 (2)人材育成 (3)がん教育、普及啓発		

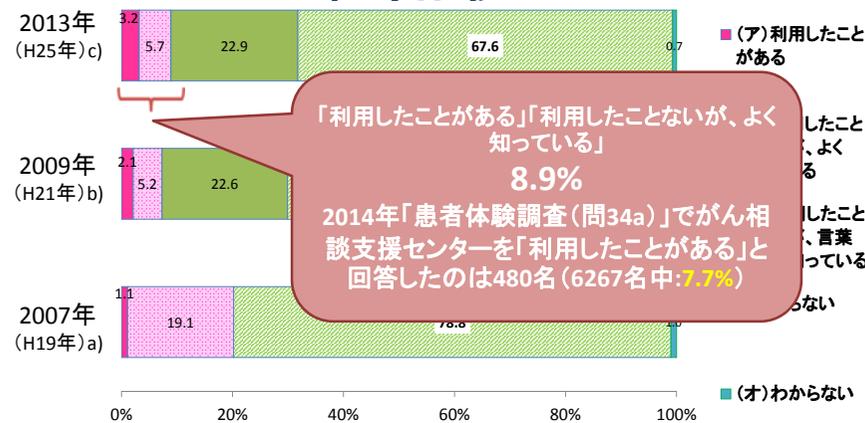
### 第3 がん対策を総合的かつ計画的に推進するために必要な事項

- |                    |                          |
|--------------------|--------------------------|
| 1. 関係者等の連携協力の更なる強化 | 5. 必要な財政措置の実施と予算の効率化・重点化 |
| 2. 都道府県による計画の策定    | 6. 目標の達成状況の把握            |
| 3. がん患者を含めた国民の努力   | 7. 基本計画の見直し              |
| 4. 患者団体等との協力       |                          |

## 現在進められている日本のがん情報提供ネットワーク

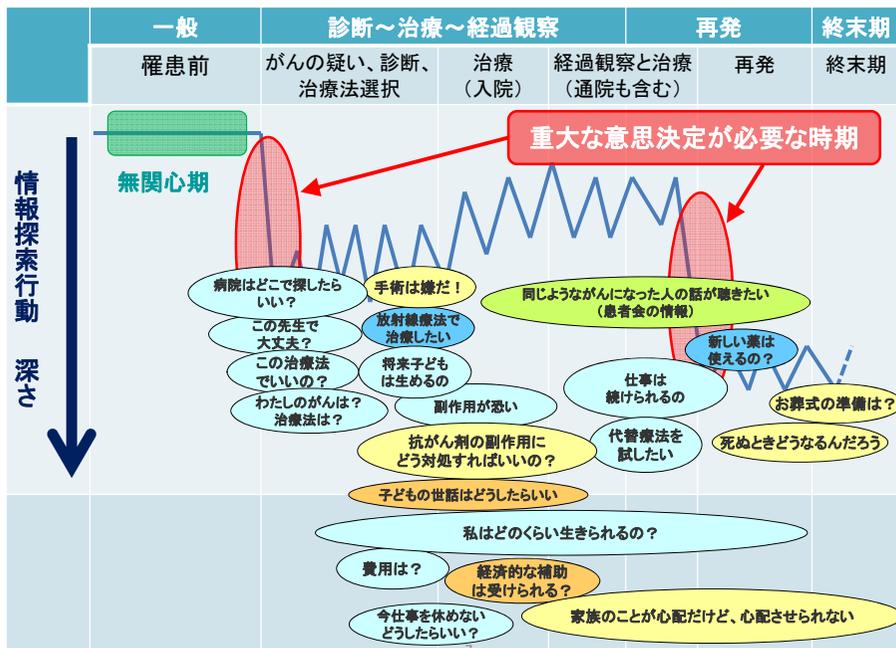


## 一般市民の「相談支援センター」の認知度 経年推移

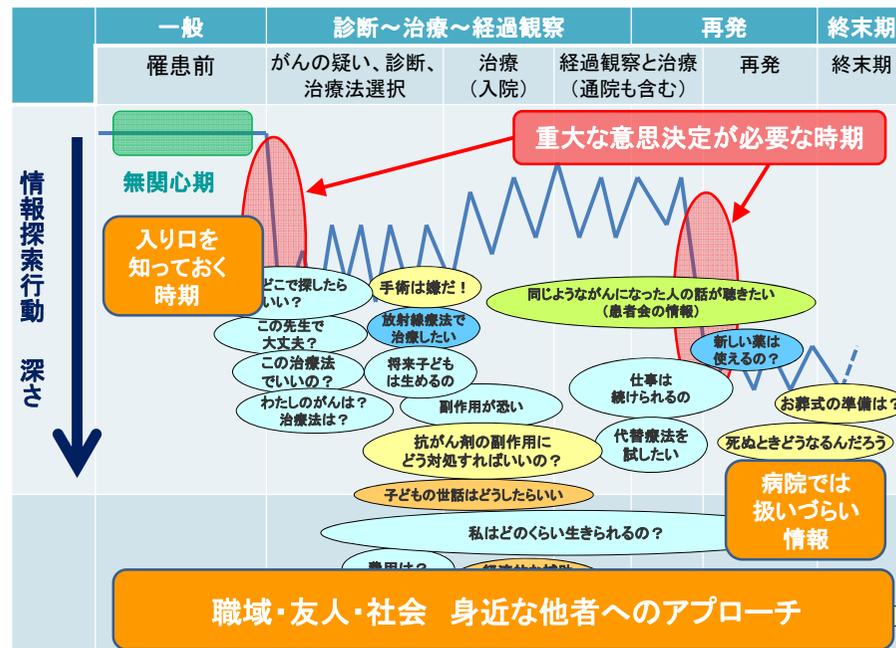


a) 全国20歳以上の者、層化2段無作為抽出法にて、個別面接聴取により実施。3000人抽出、有効回収数1,767人(58.9%)  
 b) 全国20歳以上の者、層化2段無作為抽出法にて、個別面接聴取により実施。3000人抽出、有効回収数1,935人(64.5%)  
 c) 全国20歳以上の者、層化3段無作為抽出法にて、個別面接聴取により実施。4000人抽出、有効回収数1,233人(30.8%)  
 注) H19年世論調査では、(イ)「利用したことがないが、知っている」となっている。また(ウ)「利用したことがないが、よく知らない」の選択肢はない  
 出典 a)「がん対策に関する世論調査(平成19年9月調査)」: 内閣府大臣官房政府広報室 <http://www8.cao.go.jp/survey/h19/h19-gantaisaku/index.html>  
 b)「がん対策に関する世論調査(平成21年9月調査)」: 内閣府大臣官房政府広報室 <http://www8.cao.go.jp/survey/h21/h21-gantaisaku/index.html>

## 人の医療情報に対する関心の程度と情報探索行動



## 人の医療情報に対する関心の程度と情報探索行動



国立がん研究センターの包括的連携に関する協定書の締結を通しての  
企業連携等によるがん情報の普及啓発ルートの拡大

対象者	一般	診断～治療～経過観察			再発	終末期
	罹患前	がんの疑い、診断、 治療法選択	治療 (入院)	経過観察と治療 (通院も含む)	再発	終末期
患者 本人 ・ 家族		患者必携 がんになったら手にとるガイド 別冊「わたしの療養手帳」				
職域・ 友人・ 社会		各種がんシリーズ				
		社会とがんシリーズ				
		NCCIによる普及啓発先として「弱い領域」				

がんの情報普及啓発が難しいところを連携によりカバー

<p><b>■ 企業との連携</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>がんの情報普及に関心をもつ企業との協働で、がん相談支援センターのチラシ、がんブックの作成・配布、地域相談支援フォーラムへの後援等によるがん情報普及啓発を実施（2011年～）</li> </ul>	<p><b>■ 点字図書館との連携</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>堺市立健康福祉プラザ 視覚・聴覚障害者センターと協働で、視覚障害をはじめとする障害のある人に向けた情報を翻訳、普及させる（2012年～）</li> </ul>	<p><b>■ 公共図書館との連携</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>公共図書館1981館へ「がんの冊子 39種類」の配布（2009年）</li> <li>文科研（代表者：田村→池谷）、国がん開発費（同：高山）による図書館と医療機関の連携に関する検討（2012年～）</li> <li>JSTネットワーク事業によるがん情報普及のための医療・福祉・図書館の連携プロジェクト（2014年～）</li> </ul>
---	--	--

「鳥取県がん対策推進計画」第3期  
がんとの共生 ②相談支援、情報提供

○がん患者や家族などの学習環境の整備  
施策の方向

- 県立図書館は、闘病記文庫及びがん医療等に係る優良図書のみならず更なる充実を図ります。
- がん拠点病院は、院内に設置したがんの図書コーナーの更なる充実を図ります。
- がん拠点病院は、がん患者等がインターネットを活用し、各種がん情報を検索しやすい環境を推進します。



「島根県がん対策推進計画」第3期

(2)がんを正しく理解し、がんに向き合うためのがん教育

大人へのがん社会教育

【現状と課題】

○県民に対する情報提供についての課題

県民に対するがんに関する知識の普及啓発は、がん検診受診率向上のための取組や緩和ケアについての周知、**島根県立図書館でのがん関連図書整備等**を通じて、患者、医療機関、企業など幅広い関係者と連携してきましたが、県民に十分に浸透しているとはいえないことから、その手法の検討が必要です。



「高知県がん対策推進計画」第3期

3 がん患者等への支援

イ 情報提供体制の状況

(ア) 患者及び家族等が求める情報は、情報提供を行うための体制づくりが必要では、がんに関する各種情報の提供を行う

(イ) 拠点病院等や患者会、県等が様々な情報を県民に幅広く提供している。への情報提供に努めています。

県では、がんと診断された患者さんが活用できる経済的・社会的な制度、相談窓口や地域の交流の場等を紹介した「高知県版がんサポートブック」を作成し、医療機関等を通じて患者等に配付するとともに、県のホームページにも同様の情報を掲載し広く情報提供に努めています。

(ウ) 各拠点病院やがん相談センターこうち等ががん患者やその家族同士の交流や話し合いが行えるがんサロンが開設され、がんに関する情報交換の場が広がっています。

(エ) 県では、がん相談支援センター等を周知するため、各相談支援センター等に協力をいただき、相談窓口及びがんサロンを掲載したカードを作成し、県内医療機関・市町村・図書館等での**設置・配布**をお願いしています。



# がん相談支援センター & 図書館連携PRイベント例

**飯塚市立図書館まつり (2016年10月29日)**  
福岡県がん診療連携協議会 地域連携・情報専門部会  
相談支援ワーキンググループ 筑豊ブロックとして参加



地区の図書館との連携会議『がん情報普及の会』を定期的に開催。飯塚市立図書館まつりで相談ブースを設け、一日楽しく広報に努めることができました。

**古賀市立図書館まつり (2016年10月28日)**  
福岡東医療センター がん相談支援センターが参加



ブックサイクルが行われており、掘り出し物を探しに多くの方が来館。お声掛けしながらがん相談支援センターの案内入りポケットティッシュを配布。「家族ががんで…」などのお話も伺いました。

独立行政法人国立がん研究センターがん対策情報センター  
**がん情報サービス ganjoho.jp**

このサイトの使い方 お問い合わせ サイトマップ

用語集 検索

一般の方へ 医療関係者の方へ がん診療連携拠点病院の方へ

各種がんの解説 予防と検診 診断・治療方法 がんにつき合う 統計 冊子・動画・資料 病院を探す

TOPE > 冊子・動画・資料 > 音声資料など(視覚障害などのある方向けの情報提供) > 点字図書館、公共図書館、がん診療連携拠点病院などで利用できる点字・音声図書と利用方法

冊子・動画・資料

- 患者必携
- ちらし・冊子見本版
- がんの冊子

## 点字図書館、公共図書館、がん診療連携拠点病院などで利用できる点字・音声図書と利用方法

更新日: 2013年02月21日 [更新履歴] 掲載日: 2013

## 【デジタル録音図書 (DAISY) 版] がんになったら手にとるガイドダウンロード

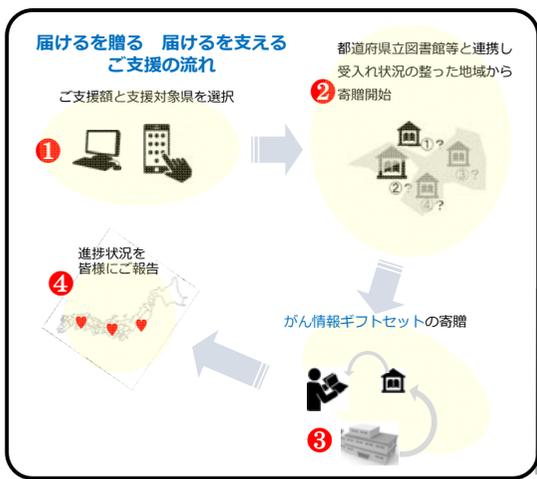
視覚障害をはじめとする障害のある人に向けたがん情報点訳・音訳資料作成支援について

国立がん研究センターがん対策情報センターと堺市立健康福祉プラザ視覚・聴覚障害者センターは、視覚障害をはじめとする障害のある人に向けた情報普及に向けた協定に基づき、堺市立健康福祉プラザ視覚・聴覚障害者センターが加盟する全国視覚障害者情報協議会等の協力も得ながら障害のある方にもがん情報を届けていくための取り組みを進めています。【協定締結 2012年10月】



届けるを贈る 届けるを支える  
がん情報ギフト  
国立がん研究センターは、皆さまからの寄付で全国の図書館に信頼できるがんの冊子をお届けするキャンペーンを行っています。ぜひご協力ください。

国立がん研究センターがん情報サービス ganjoho.jp

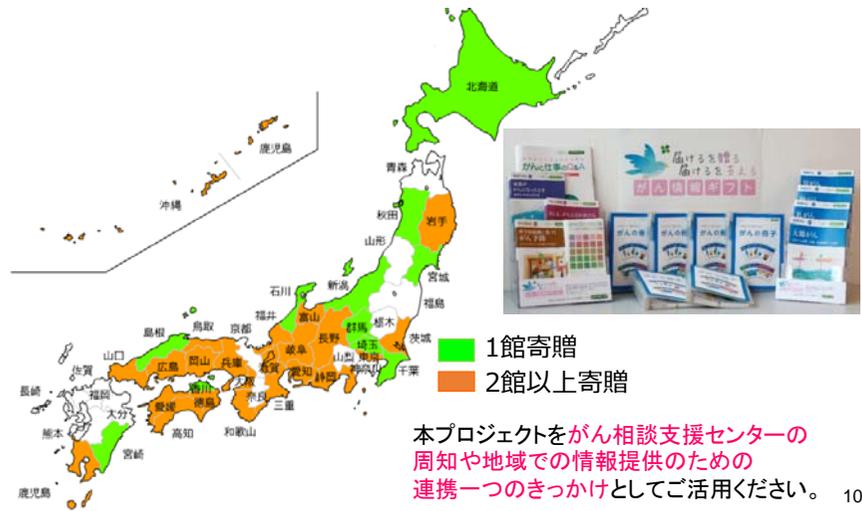


「自分が役立ってよかった」という気持ちを次の方へ・・・  
という輪を広げたい



## がん情報ギフトプロジェクト

国民の皆様からの寄付で、がん情報を身近な図書館へ



1都1道1府31県の計103図書館に寄贈(2018年11月時点)  
今月、さらに20箇所へ寄贈予定

## 医療・行政・公共図書館との連携の魅力

### 医療機関からみると・・・

- 元気な人が生活の中で来る場所  
    ↔ 病気になって初めて訪れる病院
- 小さな町村にも  
    ↔ 基準を満たすがん診療連携拠点病院は偏在
- 社会教育施設としての様々な可能性  
    ↔ 医療機関でできることの限界

### 図書館からも・・・

- 扱いづらい医療情報についての方針を整理する場
- レファレンスで答えられない医療や病気についてのリファー先の確保

ぜひ、その地域や担当者の感覚にあう、無理なく楽しめるアイデアと仲間のつながりを持ち帰ってください。